

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮国際中等教育学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	計画・探究・行動・振り返りの探究サイクルのなかで、課題の解決に向けて、習得した知識・技能を場面や目的に応じて活用する思考態度
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	国際バカロレアMiddleYearsProgramにもとづいて、実社会と結びつけた課題を設定し、その解決に向けた各教科に特有の学び方を学ぶ授業を実践する(通年) 全体教科会・各教科会において、重点目標を共有するとともに、6年後の生徒の姿を想定して、各学年・年次の指導と評価の在り方を検討し、授業・設定する課題の改善にいかす(通年・隔週)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	結果分析(2月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校務研協議
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月) ①目標の達成状況 ②学力向上策の妥当性	

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	結果報告(7月) ①学校全体の取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(11~12月) <小1~中3>	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	調査結果分析(11月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②児童生徒の実態把握) 夏季職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 調査結果の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)